

ゆりのき通信

第29号

2018年12月6日発行

ゆりのき会

～Think Globally Act Locally～

【献血に行ってきました！】

10月12日、ゆりのき会2年生と2・3年生有志、計12名で献血に行ってきました！

参加者のほとんどが初献血ということもあって、最初は緊張した面持ちで参加していた皆さんでしたが、最後には充実した様子で帰る姿も見られ、とても有意義だったのではないかな、と思います！



↑献血のノベルティです！
ファイルやペンをいただきました！



↑献血後のお菓子！おいしかった！（´～`）ｸﾞｯ
ジュースも飲んでいました！

しかし、テスト明けということもあって、体調がすぐれなかったり睡眠時間が足りていなかったりした人、ヘモグロビン値が不足している人も多く、せっかく来ていただいても献血できない、という人もいました。せっかく今回参加していただいたので、ぜひまた次に機会を作って参加してほしいですね☆

【次回開催の予定！】

・土曜補講、小論文模試終了後 12月8日(土)14:00～

今回も 学校→献血センター&献血センター→豊橋駅 or 学校の送迎が出ます！

もう一度参加したいリピーターさんも！

前回に行けなかったという初献血さんも！みんな！welcome です！

参加希望の人は12月7日(金)までに、

添付の申込用紙に生徒番号と氏名を記入してください。

業後にゆりのき会員が回収します。

詳しくは右の「献血参加にあたって」をご一読ください(´・▽・`)ﾉ30ｼ

献血参加にあたって

～献血のお話～

【献血って何？】

国内には、輸血を必要とする人が年間約 100 万人おり、集められた血液の 80%以上は、がんや白血病などの病気と闘う人のために使われます。

血液は人間の生命を維持するために必要な成分であり、体から一定量が失われると命に関わります。このような患者さんを救うために輸血が必要となります。科学が進歩した今でも血液は人工的に造ることができず、血液は生きた細胞なので、長期間保存ができません。

病気やけがで輸血が必要になってしまうことは、私達にも身近に起こることです。

病気やけがと闘う人たちを救えるのは、献血ができる健康な私たちだけです！

そして何より献血はそんな健康な私たちの体を生かせる簡単にできる身近なボランティアです！

【参加条件と当日までのお願い】

・今確認できること

満 16 歳以上

輸血歴・臓器移植経験はない

海外から帰国して一か月が経っている

一週間以内に出血を伴う歯科治療をしていない

三か月以内に動物に噛まれていない

インフルエンザの予防接種は献血前から一日以上経過している

※薬の服用に関しては医師との面談で判断されるので処方箋などを持ってくるといいかも！

・当日に確認すること

体調は良好(熱はない)

→もし当日体調が悪い場合は一緒に行く子やゆりのき会員、ゆりのきの先生へ連絡を！

お昼ご飯をしっかり食べた

あとがき～はたらく細胞のお話～

そういえば皆さん見ました？「はたらく細胞」の最終回！(今からナカノヒトがネタバレをするよ☆)

あれ、出血性ショックのお話だったじゃないですか(って言うかはたらく細胞の話時代遅れ感(今更))

あの、出血性ショックって割と身近に起こる可能性があるんですよ。例えば、交通事故だったり、あんまり考えたくないですけど刃物に刺されたり。そして、お話の中にあつたように容体がかなりのスピードで悪化してゆくのです。

そんな時に救急措置をされた後行われるのが、輸血です！その輸血の血は…勘のいい皆さんはお分かり？献血で集めた血！なんです！私、感激しちゃいましたよ！まさかあそこで献血のお話が来るとは！(´；ω；)㏄…ということで皆さんも自分の血液で、誰かの赤血球ちゃんや白血球さん、血小板ちゃんを助けてみませんか？

以上、最近やっと溜めていた録画物を消費しきった「ナカノヒト」ことゆりのき会副会長でした！